



やけどの防止

給湯・給排水機器

ご使用時のご注意

家族みんなが使うバスルームや洗面所等、お湯の設定温度が高いとやけどをする可能性があります。

給湯器の温度設定は、小さなお子様やお年寄りがいらっしゃるご家庭は特にご注意ください。

また、給湯器の調子が悪かったり、ガス臭いにおいがする場合は早めに修理や交換をしましょう！

給湯器

給湯器の給気口をふさがない

給湯器の給気口をふさぐと不完全燃焼を起こし、大変危険です。絶対に給気口をふさがないようにしてください。

給湯器の電源は切らない

給湯器等にはマイコン制御や防蝕装置、凍結防止ヒーターが内蔵されています。故障の原因となりますので、外出時も絶対に電源を切らないでください。

※長期間ご自宅を留守にされる場合は、水抜き等を行う必要があります。取扱説明書をご覧ください。

排気口に近づかない、物を置かない

排気口は排気熱によって加熱されています。ヤケドのおそれがありますから、絶対に触れないでください。

また、周りに燃えやすいモノや熱によって変形しやすいモノを決して置かないように心掛けてください。

お湯が出るまで時間がかかることがあります

給湯器の位置や間取りにより、すぐお湯が出ない場合があります。洗面器やボウルで一旦受けるようにして下さい。

水圧が弱く感じる

各メーカーとも省エネの観点から、節湯(節水)タイプの水栓が標準で採用されています。このタイプの水栓は省エネである反面、水圧が弱く感じる場合があります(個人差があります)。部材や器具の交換で解消される場合があります。

使用前に温度を確認する

やけど防止のため、吐水を始める際には必ず温度を確認の上ご使用ください。給湯機の設定温度は、念のため毎回確認してから使用するようにしましょう。また、シャワーヘッド等が破損してケガややけどをする恐れがありますので、シャワーには熱湯(60°C以上)を通さないでください。



再使用時に熱いお湯が出ることもある

シャワーや洗面化粧台等の再使用時に、配管や給湯器内に残った熱いお湯が出る場合があります。いきなり手や体にかけてしまうとヤケドのおそれがありますので、しばらく湯温の様子を見て使用するようにしてください。特に2カ所給湯の場合は、給湯器の浴室側リモコンを「優先」にセットしておかないと、キッチンで設定された高温のお湯が出るため、注意が必要です。



「優先」にセット

給湯器の浴室側リモコンイメージ